

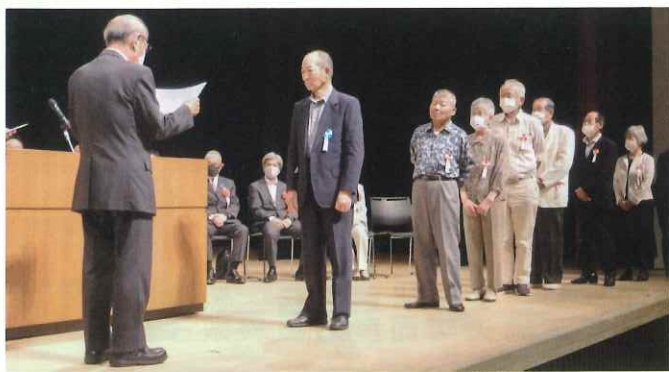
公益社団法人 呉市シルバー人材センター

# 呉シルバーだより

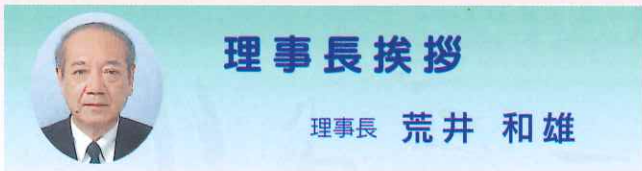
—— 健康で働く喜びをみんなでわかち合おう ——

## 令和5年度 定時総会(第43回)開催

令和5年度公益社団法人呉市シルバー人材センター定時総会が6月14日(水)午後1時から、新日本造機ホール(くれ絆ホール)において、会員550名中86名出席(委任状提出者148名、議決権行使書提出者152名)のもと、開催されました。







開会に当り一言ご挨拶申し上げます。  
 本日は、公益社団法人呉市シルバー人材センター第43回定時総会にご出席をいただき、誠に有難うございます。

また、会員の皆様には日頃から呉市シルバーの運営に関しご支援・ご協力を賜り重ねてお礼申し上げます。

令和2年1月から3年余り、猛威を振るっていた新型コロナウイルス感染症の位置づけが、先月5月8日より「2類相当」から季節性インフルエンザと同等の「5類」に移行されました。

これにより、本日の総会は4年振りに入場者数の制限を行わず開催させていただきました。

さて、昨年2月から始まったウクライナ軍事侵攻の情勢は緊迫化が続くなか、広島市で開かれた主要7カ国首脳会議(G7サミット)はゼレンスキー大統領も加わり、ウクライナ情勢等をテーマに討議が行われました。

サミットで一連の外交が停戦交渉に進展し戦争の終結に繋がり、世界の社会・経済が早期に回復することを期待しています。

次に、今年10月から段階的に実施される「インボイス制度(適格請求書等保存方式)」への対応は、全国シルバー人材センター事業協会が示す対策案を検討のうち、呉市シルバーは、お客様に請求する事務費を段階的に増額し、令和11年10月の完全実施の時点では現在の2倍に引き上げて、消費税納税の財源を確保し、現在の事務局体制を維持し安定的な事業運営を目指してまいります。

それから、本日の議決事項のうち令和4年度の収支決算ですが、前年度はコロナ禍のなか約68万円の黒字を確保することができましたが、令和4年度におきま

しては約203万円の赤字が生じる結果となりました。  
 これは屋外で就業される会員の熱中症対策として空調服を購入(約557万円)したことが要因で、呉市シルバーの運営や活動への影響はございません。

さて先月、気になるニュース記事を眼にしました。  
 総務省の労働力調査によると、国内で働く65歳以上の就業者が令和4年の平均で約912万人となり、10年前の平成24年の平均約596万人の約1.5倍になったことが明らかになりました。

高齢就業者の増加は、健康寿命が延びたことが背景の一つ、それから少子高齢化で現役世代が減少し働き手不足が拡大したこと、また、国は希望者が70歳まで働けるよう企業に努力義務を課したことが要因と分析しています。

一方、全国のシルバー会員数は、令和3年3月末に19年振りに70万人を割り込み、令和6年度を目標にした第2次会員数100万人達成計画は極めて難しい状況にあります。

呉市シルバーの会員数も、平成19年3月末の1,131人をピークに以後減少が続いておりまして、会員拡大は重要な課題となっています。

今後とも、役職員が丸丸となって「会員拡大」及び「安全就業と適正就業」の徹底に努めると共に、「就業機会の拡大・就業率のアップ」に向けて鋭意努力してまいりますので、皆様方のご支援・ご協力を宜しく、お願い申し上げます。

また、本日は後程、これまで呉市シルバー人材センターの事業発展に尽くしてこられた会員の皆様方の表彰が行われます。

永年表彰を受けられます皆様方の長年に渡るご労苦に対しまして改めて敬意を表し、感謝申し上げます。

終わりになりますが、本日までご出席いただきました皆様方の、今後増々のご健勝と多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。本日は、誠に有り難うございました。

**新任役員  
紹介**

理事 福光 一美

**退任役員  
紹介**

理事 山田 照枝  
 理事 山岡 隆彦  
 理事 福川 邦雄



**会員十五年**

森中 中  
 脇下 下  
 静龍  
 優枝巳

大松高上 山口渡岩新吉山  
 村元山 村口部男家井田  
 修 克 正昭盛英栄  
 三 健 功 博 勝 行 男 人 夫 子

**会員二十年**

黒崎 中西 高本  
 法和 佐  
 爾 良 次

**会員十年**

荒尾糸平  
 谷田原本  
 忠幸敦  
 義弘子子

栗石甲伊松村中安仁山助中土佐山  
 田田田藤広岡下竹方岡光間肥中口  
 誠雅春和元信正忠尚秀  
 子悟信子彦勝春男善之武春子勝  
 修

**役員四期**

山岡 大原三久奥松若前重山吉渡古難上石好谷  
 隆彦 田田戸野本本松川本本村辺川波野崎岡本  
 幸文正満洋幸憲忠春幸研孝孝孝  
 則江司美三雄次義夫雄司良治美智枝 昶 照政博英  
 彦 則 江 司 美 三 雄 次 義 夫 雄 司 良 治 美 智 枝 昶 照 政 博 英 雄

**永年勤続表彰者**



**令和4年度 収支計算書**  
(令和4年4月1日～令和5年3月31日)

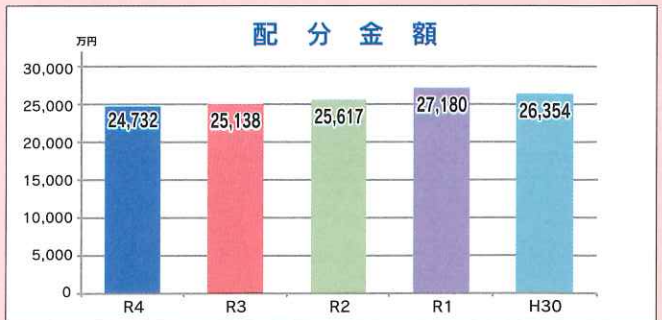
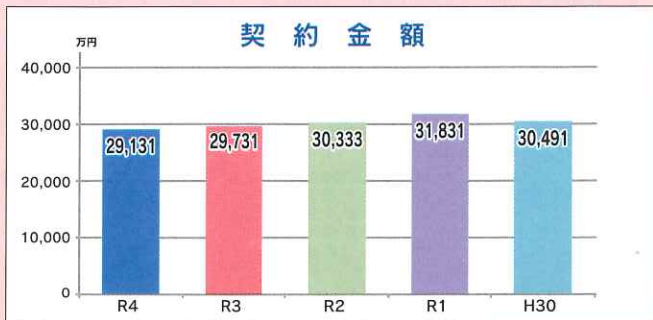
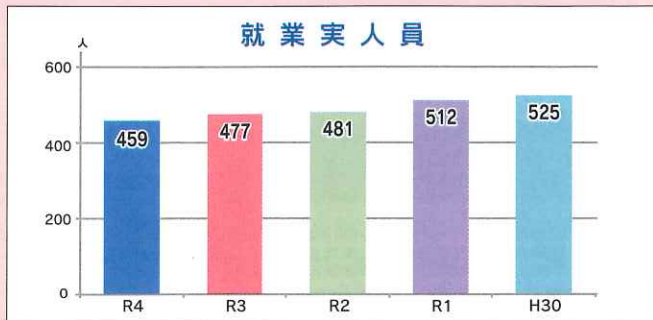
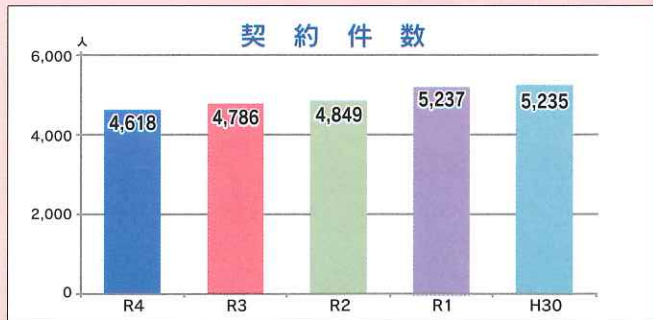
(単位：円)

(単位：円)

科 目	決 算 額	
1. 経常収益の部		
受託事業収益	291,312,650	
労働者派遣事業等受託収益	4,688,166	
受取会費	1,210,500	
受取補助金等	30,039,000	
特定資産運用益	320	
雑収益	1,419,572	
経常収益計	328,670,208	
2. 経常費用の部	事業費	管理費
支払配分金	247,323,671	0
支払材料費等	20,707,288	0
役員報酬	582,000	384,000
給料手当	24,979,742	90,981
臨時雇賃金	2,163,554	0
法定福利費	4,625,184	15,397
賞与引当金繰入額	1,815,664	5,150
退職給付費用	3,130,224	12,216
福利厚生費	236,936	310
会議費	10,970	465,867
旅費交通費	246,940	0
通信運搬費	1,383,241	188,329

科 目	決 算 額	
経常費用の部	事業費	管理費
減価償却費	137,596	0
什器備品費	354,750	0
消耗品費	6,829,938	28,313
修繕費	155,154	0
印刷製本費	176,000	211,200
光熱水料費	1,107,174	31,501
賃借料	5,746,296	169,021
保険料	3,177,710	53,000
諸謝金	165,440	0
租税公課	379,170	21,000
支払負担金	314,446	9,354
委託費	2,228,537	212,106
教材費	57,145	0
支払手数料	71,996	2,227
貸倒損失	1,980	0
損害賠償費	1,672,144	0
雑費	131,020	0
小計	329,911,910	1,899,972
経常費用計	331,811,882	
当期経常増減額	△ 3,141,674	

**事業実績対比**





令和5年度 収支予算書  
(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

(単位：円)

Table with 3 columns: 科目, 予算額, and sub-categories for 1. 経常収益の部 and 2. 経常費用の部.

(単位：円)

Table with 3 columns: 科目, 事業費, 管理費, and 経常費用計.

令和5年度 事業計画

我が国の人口構成は、世界に類を見ないスピードで高齢化が進展し、「超高齢社会」の到来は大きな社会問題となっています。

呉市の令和4(2022)年9月末現在の総人口は、21万70人(呉市住民基本台帳)、65歳以上の高齢者人口は7万5,797人、高齢化率は36.1%とっており、既に超高齢社会に突入しています。

高齢者を取り巻く社会状況は、政府の策定した「高齢社会対策大綱(平成30年2月16日閣議決定)」にもあるとおり、年齢を判断基準とせず高齢者に高い就業継続意識がみられる現況を踏まえ、年齢にかかわらず希望に応じ働き続けることが出来るよう環境整備を図ることとなっており、企業の定年延長や再雇用などにより就労環境が大きく変化しています。このような「生涯現役社会」の実現の一翼を担い、活力ある地域社会づくりに貢献するシルバー人材センターの果たすべき役割の期待や重要性は一層大きなものとなっています。

シルバー人材センター事業は「請負・委任」からスタートしており、今後これが中心事業であることにより変わっていきませんが、従来の請負・委任では発注者の要請に応えられない業務が拡大しており、適正就業の面からも派遣事業への取組みの強化が求められています。

高齢者である会員に就労の場を提供するシルバー人材センターは、従来から「生きがい対策」「健康対策」「生活の安定」「地域社会発展の下支え」を目的として事業を展開しています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大の位置づけについて、政府は今年5月8日に季節性インフルエンザ等と同じ「5類」に引き下げる方針を正式に決定しましたが、ウイルスの感染力や病原性が変わるわけではないため、引き続き日常生活や就業現場における感染防止対策に努める必要があります。

また、全国的に会員数が減少している中、令和元年度から現状維持や増加傾向にあった当センターの会員数も減少に転じてしまいました。引き続き会員数の拡大を目指して第一次中期計画(3年目)に沿って確実に事業を実施してまいります。

本年度も引き続き、人手不足や現役世代を支える分野の就業を促進するため、国が補助事業として強く進めている「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を推進してまいります。

これらを含め、多くの分野で請負業務、そして新たな派遣業務の確保に向けて、本年度も次の方策を推進してまいります。

① 会員の拡大

全国的に会員の減少に歯止めがかからない要因として、企業における65歳までの継続雇用制度の定着とともに入会時の年齢が従来の60歳代から70歳を超える層となっていることが考えられます。

会員の拡大を図ることは、今後のシルバー事業の維持・発展に不可欠であり、特に少子高齢化に対応した福祉・家事援助サービス分野での女性会員の拡大が求められています。このため従来から行っている街頭キャンペーン及び各種研修会の開催などを通じて、機会あるごとに「会員募集用チラシ」の配布を行い市民への周知に努めます。

なお、昨年度に引き続き、広島県連合会が主催するRCCテレビなどメディアを活用した広報活動に参画し、会員の拡大に努めます。

② 就業開拓及び就業率の向上

現在、会員の減少により発注者からの依頼にこたえることが難しく、就業率は減退しています。就業率を向上させるためには、就業機会の拡大が重要であり、就業率の向上と就業機会の拡大は、会員の拡大とともにセンター業務の維持発展のための車の両輪のようなものです。

これまでもシルバー事業のPRや派遣事業の拡大に取り組んでいますが、

「仕事を待っている」のではなく、積極的に「打って出る営業」を行うことにより就業開拓に取り組む必要があります。

また、「分かち合い就業」を推進し、一人でも多くの会員が就業できるよう、就業率の向上を図ります。

③ 独自事業の推進・開拓

独自事業については、平成2(1990)年度から行ってきた再生自転車の販売事業を昨年度で廃止しました。引き続き、新たな事業を開拓し独自事業の創生を図るため、顧客ニーズを把握するとともに会員の皆様からの提案や提言をいただき検討してまいります。

④ 安全・適正就業の推進

安全就業はセンターの最重要課題です。「安全は全てに優先する」というスローガンに基づき、会員の安全意識の高揚と就業中の事故防止、就業途上の交通事故防止に組織を挙げて全力で取り組みます。

- 安全バトロールの強化
安全就業強化月間の取りみの実施
交通安全講習会の実施
安全就業講習会の実施
就業前ミーティングの実施
安全標語の募集の実施
ヒヤリ・ハット体験事例の募集

適正就業については、法令遵守の徹底による適正就業を図るとともに、ローテーション就業の促進、長期継続就業の解消に努め、就業の適正化を図ります。

⑤ 研修会・講習会の開催

各種研修会・講習会を実施して、会員一人ひとりの知識や技能の習得、向上を図るとともに、ホームページや市報紙により募集し、会員の拡大や就業率の向上に努めます。

また、広島県シルバー人材センター連合会主催の「高齢者活躍人材確保育成事業」技能講習会の地元開催、また他地区での講習会を積極的に受講するよう広く市民に情報発信し会員の確保に努めます。

⑥ 労働者派遣事業の推進

国の補助事業「高齢者活用・現役世代雇用サポート事業」を活用し、発注者の指揮命令や社員との混在就業が可能となる「労働者派遣事業」を広島県シルバー人材センター連合会と連携し推進していきます。

⑦ 福祉・家事援助サービス事業の推進

女性会員の拡大、就業率の向上には、福祉・家事援助サービス及び子育て支援など女性会員に適した業務の拡大が不可欠です。

昨年度に引き続き、呉市が行う「支え合いホームヘルプサービス事業」に参画するなど、福祉・家事援助サービス及び子育て支援の就業開拓に積極的に取り組みます。

⑧ 普及啓発活動の推進

シルバー人材センター事業への理解と協力を得るため、例年10月の「全国普及啓発促進週間」をはじめとする各種行事を活用し、市民を対象にパンフレット、チラシなどを配布する普及啓発活動を行います。

また、会員の協力を得て「呉海軍墓地」の剪定・清掃奉仕などボランティア活動を行うとともに、昨年度に引き続き、多くの市民が集う施設等において就業会員パネル展を開催しシルバー人材センターのPRに努めます。

⑨ 職業紹介事業の実施

臨時的かつ短期的な仕事又はその他の軽易な業務に係る仕事の求人を受け付け、会員に紹介する有料職業紹介事業を行います。



## 草刈機取扱講習会

令和5年4月19～21日、10名の参加で草刈り機取扱講習が行われました。一般参加者3名のうち3名が新規入会されました。



## 剪定講習会

令和5年4月18～20日、5名の参加で剪定講習会が行われました。参加者のうち2名が新規入会されました。



## 剪定・清掃奉仕活動

令和5年9月14日(木)公益財団法人呉海軍墓地顕彰保存会からの依頼による「呉海軍墓地剪定・清掃奉仕」作業を、会員86名が参加し行いました。「呉海軍墓地合同追悼式」にあわせて公園周辺をきれいにするもので、全国から来られる遺族の方々をはじめ、参列者の皆さんが気持ちよく式典に臨まれるようにと毎年行っているものです。呉海軍墓地の関係者の皆さんには大変喜ばれ、例年、丁重なる感謝の言葉をいただいております。



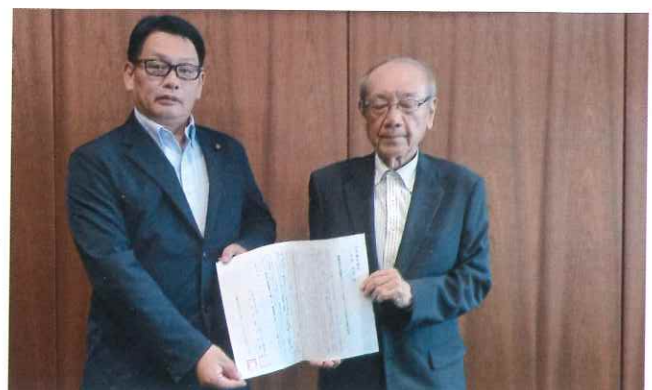
## 街頭キャンペーン

令和5年10月21日(土)「全国普及啓発月間」に合わせ、呉駅前周辺でパンフレット等を配りました。



## 要望書の提出

理事長と事務局長が、令和5年10月11日(水)に呉市長と呉市議会議長に要請訪問し、全シ協の要望書を手渡しして、協力をお願いしました。





安全就業の強化活動の一環として募集した中より優秀作品が選ばれました。

### 安全標語の優秀作品

- なれた頃 危険がイッパイ 気のゆるみ**  
 会員番号 5525 中村 守男
- みな齢(よわ)い 共に声かけ 防ぐ事故**  
 会員番号 4250 生土 雪春
- 不安全作業 みんなで改善 即実効**  
 会員番号 5396 渡引 健三

### 年度別傷害事故・損害事故発生状況

年度	傷害事故件数			損害事故件数
	就業中	通勤途中	計	
R2年度	2	0	2	6
R3年度	6	3	9	12
R4年度	9	1	10	24

#### R4傷害事故の内訳

入院	3	剪定・伐採	2
通院	7	除草	3
計	10	清掃他	5
		計	10

#### R4損害事故の内訳

除草	17
剪定・伐採	5
その他	2
計	24

### 安全・適正就業巡回パトロールの実施

令和5年7月20日(木)に当シルバー人材センター安全委員会による安全・適正就業巡回パトロールを実施しました。



### 互助会の会員募集(お知らせ)

シルバー人材センター会員互助会は、平成11年(1999年)に発足し、24年の歳月が経過しました。

その間、親睦旅行や同好会活動など活発に活動しています。多くの会員の皆さま方のご入会を心からお待ちしております。

●7つの同好会

- 将棋・囲碁・盆栽・パソコン・テクテク(歩く会)・カラオケ・尺八

互助会会長

上村 博

☎0823-23-9334



### 緊急連絡先

- 平日(8:30~17:15) 事務局へ連絡 ☎21-6611
- 休日・就業時間外

業務総括・襖・分別等

担当 飯田 ☎090-7129-9646

公園清掃

担当 住吉 ☎090-7129-9644

植木剪定

担当 木下 ☎090-7129-9645

草刈・屋外清掃

担当 井上 ☎080-7652-1407

事務・筆耕・管理・軽作業・家事サービス・パソコン指導・イベント型育児支援・派遣事業等

担当 大崎 ☎090-7129-9643

安浦連絡事務所

☎84-7866

担当 大番 ☎080-1632-7227

事務局長 平川 ☎090-2298-6089



## 令和5年度配分金基準単価の改定について(お知らせ)

広島県の最低賃金が10月1日から1時間当たり930円から40円(率にして4.3%)引き上げられました。

これを受けて、配分金単価を令和6年4月作業分から改定させていただきます。

- 1 引上げ額 1時間当たり20~40円(※ 業務の種類によって異なります。)  
1枚当たり4.3%~(襖・障子等の張替え、賞状等の筆耕)
- 2 配分金の改定日は、これまで10月1日としておりましたが、呉市など年度契約を結んでいる公共業務は年度途中で契約変更が困難なため、配分金の引上げ差額分をセンター受取事務費から捻出しお支払いしておりました。

しかし、消費税のインボイス制度が10月からスタートし、会員の皆さまにお支払いする配分金・交通費に含まれる消費税額をセンターが納税しなければならなくなった現在、センター経営が財源不足により支障をきたす恐れがあるため、平成29年度以前と同じ新年度(令和6年4月1日)とさせていただきますので、何卒ご理解のほどお願い致します。

## 適格請求書等保存方式(インボイス制度)が始まりました

消費税のインボイス制度が10月からスタートしました。会員の皆さまにお支払いする配分金などには発注者から預かった消費税が含まれています。会員の皆さまは、個人事業主として仕事をされますので消費税納税事業者になりますが、多くの方は課税売上高が年間1,000万円以下のため、免税事業者となり、納める必要はなく、この制度はインボイス制度が始まっても変わりません。

しかし、センターは会員との取引で消費税の仕入税額控除(\*)が認められなくなり、配分金などに含まれる消費税額を翌年度納税しなければなりません。

そのため、令和6年度よりセンターの納税コストが大幅に増えることとなります。インボイス制度開始後6年間は経過措置による減免制度があるため、新たに増額となる消費税の納付予定額を令和4年度決算額で試算すると、令和5年10月からの3年間で約1,340万円、令和8年10月からの3年間で約3,360万円、令和11年10月から1年間で約2,240万円となります。

このようにインボイス制度は、センターの経営に多大な影響を及ぼすこととなります。センターではこの消費税を納税していく財源確保のため、当面、発注者に請求する事務費を段階的に引き上げて対応していく方針です。

しかし、今後は配分金の見直し等を含め、会員の皆さまにご無理をお願いする事があるかもしれませんが、センターを取り巻く実情をご理解のうえご承知おきください。

\*仕入税額控除とは：消費税を納めなければならない事業者が、仕入れで発生した消費税を売り上げの消費税から差し引いて計算することです。

## 会員の皆さまへお願い

令和5年10月1日より、インボイス制度がスタートしました。適格請求書発行事業者(インボイス発行事業者)の登録をしている方は、センターへお知らせください。



## 配分金の振込先の変更について（お願い）

令和3年5月にもお知らせした事がありますが、ついに、令和6年4月から配分金等の振込手数料の免除制度がなくなり、手数料が必要となりました。

ついては、現在広島銀行以外をご利用の会員の皆さまは、差支えなければ広島銀行へ振込先の変更のご協力をお願いします。

新規入会者については、既に広島銀行に統一しています。

手続きについては、広島銀行の通帳など口座がわかるもの(本人名義に限る)を用意して頂き、事務局へご連絡ください。(21-6611)

また、新規に口座を開設する場合は、最寄りの広島銀行の窓口で「配分金の振込みのため口座を開きたい」とご説明されて、呉支店又は呉市役所出張所で開設してください。

## 令和5年度分の確定申告

確定申告に必要な令和5年分(令和5年1月～令和5年12月)の「配分金支払証明書」は、1月に郵送します。

下記を参考の上、誤りのないよう申告してください。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、出来るだけ自宅からe-TAX(電子申告)をご利用ください。

※ お送りする令和5年分配分金支払証明書の金額は、1年間の配分金と交通費の合計金額です。

## 配分金に対する所得税の取扱い

シルバー人材センターで得た配分金収入等に対する所得税の取扱いは以下のとおりです。誤りのないようご注意ください。

- 1 配分金収入は、所得税法上「雑所得」に区分されます。雑所得の金額は、原則として雑所得の総収入金額から必要経費を控除した金額です。したがって配分金収入に係る必要経費の額は、配分金収入から控除することができます。
  - 2 しかし、必要経費の額が55万円未満の場合には、租税特別措置法第27条「家内労働者の特例」の適用により、55万円(収入金額が限度)を控除することができます。
- なお、配分金収入以外に55万円未満の給与収入がある会員が配分金収入から控除する金額は、55万円から給与所得控除の金額(55万円未満の場合給与収入金額と同額)を差し引いた残額になります。
- 3 公的年金を受給している会員は、「家内労働者の特例」とは別に公的年金等控除が受けられます。また、個人年金等その他の雑所得のある方は、計算が異なりますのでご注意ください。

▼ 配分金にかかる所得税は、概ね次のように算出されます。

$[(\text{配分金収入} - \text{必要経費}) + (\text{公的年金等の収入金額の合計額} - \text{公的年金等控除額}) + (\text{給与収入} - \text{給与所得控除} - \text{所得金額調整控除}) - \text{基礎控除}(48\text{万円}^{*1}) \text{等の所得控除}] \times \text{適用税率} = \text{所得税額}^{*2}$

※1 合計所得金額が2,400万円以下の場合

※2 平成25年分以降は、所得税額に2.1%を乗じた復興特別所得税の計算が必要となります。

- 詳細は管轄の税務署にお問い合わせの上、正しく申告してください。  
呉税務署 ☎0823-23-2424 (自動音声でご案内します。)

## 安全標語の募集

令和5年度「安全就業強化月間」活動の一環として、会員すべての安全意識の高揚を図るため、安全標語を募集致します。

### 募集テーマ

会員の安全意識を啓発する内容

### 応募方法

一人一句以上で未発表のものとし、氏名、会員番号を明記して葉書又は封書で事務局へ令和6年4月未までに送付して下さい。

## ヒヤリハットの募集

会員の皆さんの就業途上及び就業中に、「ヒヤ・ハット」とした経験や発生原因、発生防止対策等を募集します。

その経験内容を分析し、会員の事故防止に役立てて行きたいと思えます。

### 応募方法

体験事例用紙に記入し事務局へ提出して下さい。

多くの会員の皆さんからの応募をお待ちしております。